

【 2018 アジア選手権 】

2018年1月18日～1月28日 韓国・水源

試合結果報告 1 月 23 日 (水)

J P N	VS	UAE(アラブ首長国連邦)
14	前半	9
13	後半	11
27	合計	20

個人得点

名前	前半	後半	7mTC		合計
佐々木 亮輔	0	0			0
宮崎 大輔	2	0			2
笠原 謙哉	0	0			0
小賀野 龍也	0	0			0
部井久 アダム 勇樹	0	1			1
甲斐 昭人	0	0			0
植垣 健人	0	1			1
成田 幸平	1	0			1
徳田 新之介	2	0			2
渡部 仁	1	2			3
土井 レミイ 杏利	0	0			0
信太 弘樹	4	2			6
元木 博紀	0	2			2
玉川 裕康	0	0			0
東江 雄斗	2	3			5
門山 哲也	2	2			4
合計	14	13	0	0	27

戦評

メインラウンド2戦目は中東のUAEが相手。勝てばファイナル4(準決勝)進出へ大きく近づく、今大会最も重要な試合の1つ。若干セットオフェンスで固さがみられた日本だが、3分過ぎたあたりで主砲・信太がエンジン全開。ロング、ミドル、カットインとUAEのディフェンスを切り裂き、4連取を2回と猛攻を仕掛ける。たまたまUAEはタイムアウトを要求し、日本のバックコート陣の走り込みとパスワークを分断しにかかる。走りこんだ1対1を封じられた日本のオフェンスは後手に回り、得点が伸び悩むも、GK・甲斐を中心としたディフェンスが踏ん張り、簡単には失点しない。そのまま点を取りあい前半を14-9と5点リードで折り返す。

後半も日本の勢いは止まらず、この試合ラッキーボーイの信太、東江で一気に3連取と抜け出す。10分過ぎに日本ベンチは門山をセンターバックに投入。攻撃のテンポを変えて、主導権を握ったまま試合を進める。16分過ぎには23-14と9点差がついたところで、元木をライトウイング、部井久をライトバックへ投入、このベンチワークが功を奏し、「試合を決めるなら今」と言わんばかりに集中力を高めた日本は元木、渡部らがボールにからんで連取して一気にスパート。後半22分、25-16と試合を決めた。最終的に27-20と7点差をつけて快勝。勝ち点を2に伸ばした。次戦は世界選手権をかけてバーレーンと戦う。チームの約束事を再確認し、ベストを尽くしたい。

報告記入者 :

吉村 晃